

本ビジョンの施策		具体的な方策	R5取組状況
安全 安全な給水の確保			
(1)	水質管理の拡充	①水質検査計画に基づいた水質検査の継続 ②計器類(濁度計・残塩計)の整備	①水質検査計画に基づき実施、結果公表 ②稲荷浄水場に原水導電率計、浄水濁度計を整備
(2)	水安全計画の策定	①水安全計画の策定と運用	①策定済
(3)	貯水槽管理の強化	①貯水槽管理に関する情報提供の強化 ②貯水槽管理マニュアルの作成・配布	①ホームページによる情報提供 ②R4作成済
(4)	給水装置管理の適正化	①指定給水装置工事事業者に向けた指導内容の検討	①事業者更新制度開始に伴い準備中
(5)	鉛製給水管解消への取り組みの強化	①鉛製給水管布設状況の調査 ②鉛製給水管解消に向けた対策の検討 ③鉛製給水管に関する情報提供の強化	①検満交換時調査 ②検満交換時における接点を活用し周知徹底を行う ③指定工事店への周知、市民配付チラシ裏面に情報記載
強靱 より安定した施設の構築・災害対策の推進			
(1)	老朽施設・老朽管路の計画的な更新	①老朽施設の更新 ②老朽管路の更新	①天神原配水池・神座配水池・抜里配水池・犬間配水池更新済
(2)	施設・管路の耐震化	①配水池及び地下水源施設の耐震化 ②管路の耐震化	②老朽管路更新(基幹管路を優先的に更新中)
(3)	応急給水・応急復旧体制の強化	①BCPの策定とBCPに基づいた職員訓練の実施 ②資機材の確保 ③利用者参加型応急給水訓練の実施 ④災害用飲料水の確保に向けた広報 ⑤周辺事業者との連携の強化	①県、企業団訓練参加、市単独訓練の実施 ②給水袋 R4購入済、R6購入予定 ③石川県能登半島地震応急給水活動(令和6年、1月2月3月) ④市総合防災訓練の実施を通じた広報活動 ⑤3市意見交換会の開催(藤枝市・焼津市)
(4)	渇水対策の強化	①渇水対策マニュアルの運用と見直し ②地下水源の定期的な維持管理	①渇水対策マニュアルを廃止し、危機管理マニュアルに統一済 ②計画的な井戸浚渫を実施中
(5)	停電対策の強化	①自家発電設備燃料の確保 ②可搬式自家発電設備の配置検討	①燃料確保は委託事業にて実施中 ②重要施設には整備済み
持続 施設の効率的な整備・運用・経営の健全化			
(1)	水需要に合わせた施設のダウンサイジング	①今後の水需要に合わせた施設能力の検討	①島田市水道事業基本計画策定済(R2)
(2)	施設管理体制の効率化	①施設台帳システムによる管理の実施	①R4.9整備済み
(3)	漏水対策の強化	①漏水調査の実施 ②老朽管の更新	①職員による漏水調査を12回/年実施
(4)	事業の統合に向けた取り組み	①簡易水道の上水道への事業統合に向けた整備	①抜里水源、犬間配水池整備済
(5)	近隣水道事業者との広域連携に向けた取り組み	①広域連携に向けた協議への参加 ②周辺事業者との将来的な統合に向けた検討	①県主催の広域検討会に参加 ②大井川圏域の意見交換会に参加
(6)	アセットマネジメント及び経営戦略を踏まえた財源の確保	①アセットマネジメント及び経営戦略の運用と見直し ②適正な水道料金の検討	①令和4年度決算及び事業計画に基づいた予算の見直し ②R9.4からの料金改定に向け、業務委託に係る経費を令和6年度予算に計上
(7)	業務の効率化	①業務委託内容の見直し ②業務のマニュアル化	①浄水場、料金委託の一元化は令和2年度から継続実施 ②業務ごとマニュアル整備中
(8)	技術力の確保と継承	①OJTの実施 ②外部研修への参加 ③外部委託を活用した技術力の確保 ④大井上水道企業団との人事交流の検討	危機管理マニュアル、水道BCPを用いた訓練を実施 外部研修会、参加11回他
(9)	広報・広聴の充実	①「広報しまだ」や水道独自の広報紙による情報の発信 ②浄水場見学や浄水講座の実施 ③広聴活動の実施	①「広報しまだ」に掲載(水道修理休日当番、決算・予算等) ②ふれあい島田塾(「水のおはなし」)1件実施 ③計画等の見直し時に実施予定(令和5年度の実施なし)
(10)	環境に配慮した設備選定及び事業の実施	①エコアクション21の実施 ②浄水発生土・建設発生土の有効利用 ③高効率機器の導入	①エコアクション21実施 ②浄水発生土未実施、建設発生土の有効利用100% ③未実施

1-(1) 水質管理の拡充 P35

年次計画	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	
	水質検査計画に基づいた水質検査の継続										
計器類(濁度計・残塩計)の整備 栗原・石風呂	→										
	→										
数値目標	指標の名称			単位	現況			目標値			
					2015	2022	2027				
	・水質基準不適合率 =(水質基準不適合回数÷全検査回数)×100			(%)	0	0	0				
・簡易水道における水質監視体制の整備数 =簡易水道における水質の24時間監視実施施設数			(箇所)	11	14	14					

実施内容
水質検査計画は毎年度ごと結果に基づき見直し更新
水質検査計画に基づき検査実施、結果公表
栗原と石風呂地区の濁度計等の整備については、令和3年度に整備を完了した。また、残塩計が設置されていない家山と身成地区については、令和7年度以降に実施する予定。

実施内容
水質基準項目については不適合回数0回
令和2年度に小川と中平地区が施設統合された。令和3年度に栗原と石風呂地区の整備が完了し、水質監視体制の整備数は12カ所となり、残りの家山と身成地区を令和7年度以降に整備する予定である。

1-(2) 水安全計画の策定 P35

年次計画	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
	水安全計画の策定と運用									
地下水源編 の作成	→									
浄水場編	→									
その他簡易水道ごとに順次策定、見直	→									

実施内容
R4策定済

1-(3) 貯水槽管理の強化 P37

年次計画	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
	貯水槽管理に関する情報提供の強化									
→										
貯水槽管理マニュアルの作成・配布										
→										

実施内容
島田市ホームページに掲載
R5.2に作成し、R5.4から配布

1-(4) 給水装置管理の適正化 P38

年次計画	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
	指定給水装置工事業者に向けた指導内容の検討									

実施内容
令和2年度に新指針を策定し運用中

1-(5) 鉛製給水管解消への取組の強化 P39

年次計画	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	
	鉛製給水管布設状況の調査										
	60.4%	68.3%	76.3%	84.2%	92.1%	100%					
								鉛製給水管解消に向けた対策の検			
鉛製給水管に関する情報提供の強化											

実施内容
量水器検定満期交換時に調査
検満交換時における接点を活用し周知徹底を行う
指定工事店への周知、市民配付チラシ裏面に情報記載

数値目標	指標の名称	単位	現況	目標値	
			2015	2022	2027
	・鉛製給水管布設件数の調査率 = 鉛製給水管布設調査を行った件数 ÷ 量水器の設置件数 × 100	(%)	44.6	92.1	100
	・鉛製給水管布設替え件数 = 一年間で鉛製給水管の布設替えを行った件数	(件/年)	127	130	130

実施内容
調査率95.07% ※(100% - 4.93%(未調査率)で算出)
改造・修繕数40件

2-(1) 老朽施設・老朽管路の計画的な更新

年次計画	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
	老朽施設の更新									
天神原配水池	→									
抜里配水池	→									
小川・中平浄水場(統合新)	→									
犬間配水池	→									
									→ その他電気・機械設備	
老朽管路の更新										
	3,820m	2,749m	1,745m	1,605m	2,542m	3,512m	2,360m	2,360m	4,481m	3,934m
→										
数値目標	指標の名称						単位	現況 2015	目標値	
									2022	2027
	・管路更新率 =(1年間に更新した管路の延長/管路延長)×100						(%)	0.7	100年で全て更新が完了するよう、1年あたり1%程度を目標に更新	

実施内容
天神原配水池更新 R1～R3で配水池を更新済
抜里簡易水道は、令和元年度に配水池の整備を完了した。 小川中平簡易水道は令和元年度に浄水場の整備を実施し、令和2年度に中平の送配水管を整備した。
平成30年度に予定通り配水池を整備した。
R5年度 1,895m更新

実施内容
$(1.895/422) \times 100 = 0.449 \div 0.45\%$ 年度更新目標値を下回っている。

2-(2) 施設・管路の耐震化 P41

年次計画	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	
	配水池耐震診断										
	栗原 石風呂	鵜網	鍋島 二俣								
	地下水源施設の耐震化										
	南9号水源	阪本配水池	阪本配水池	建屋南7号水源	初倉4号水源	南1号水源					
	配水池の耐震化										
	神座 相真										
	基幹管路の耐震化										
	簡易水道地区の管路の耐震化										
	15,000千円	15,000千円	15,000千円	15,000千円	25,000千円	15,000千円	15,000千円	15,000千円	15,000千円	15,000千円	
島田市民病院周辺管路の布設											
		400m	200m								

実施内容
R5年度実施なし
R5年度実施工事なし
神座配水池はR2、天神原配水池はR3に更新済 相賀配水池はR4に耐震診断を実施済
基幹管路(送水管)477m更新
給水人口の多い家山地区から計画的に配水管の耐震化を実施している。H28 169.5m H29 171.7m H30 175.7m R1 431.4m R2 162.7m R3 233.0m R4 190.3m R5 163.2m
R4年度完成

数値目標	指標の名称	単位	現況	目標値	
			2015	2022	2027
	・配水池の耐震化率 =(耐震対策の施された配水池有効容量/配水池等有効容量) × 100	(%)	93.6	98.4	98.6
	・管路の耐震管率(D-GX,D-NS,鋼管-溶接,SUS-溶接,HPPE,WEETが耐震管) =(耐震管延長/管路延長)× 100	(%)	9.7	12.5	17.6
	・重要給水施設配水管路の耐震適合管率(D-GX,D-NS,D-K,鋼管-溶接,SUS-溶接,HPPE,WEETが耐震適合管) =(重要給水施設配水管路のうち耐震適合管延長/重要給水施設管路延長)× 100	(%)	24.6	26.7	41.5
	・基幹管路の耐震管率(D-GX,D-NS,鋼管-溶接,SUS-溶接,HPPE,WEETが耐震管) =(基幹管路のうち耐震管延長/基幹管路延長)× 100	(%)	12.9	13.3	14.1

実施内容
主要な配水池は耐震性を確保している R5年度末 (19,642/20,402) × 100 = 96.3%
R5年度末 (80,879.7/422,511.4) × 100 = 19.1 %
R5年度末 (16,519/42,572) × 100 = 38.8%
R5年度末 (8,034.2/34,483) × 100 = 23.3%

2-(3) 応急給水・応急復旧対策の強化 P43

年次計画	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027			
	BCPの策定とBCPIに基づいた職員訓練の実施												
			BCP策定										
	BCPIに基づいた職員訓練の実施												
	資機材の確保												
	利用者参加型応急給水訓練の実施												
	災害用飲料水の確保に向けた広報												
	周辺事業者との連携の強化												
	数値目標	指標の名称					単位	現況				目標値	
		・災害対策訓練実施回数 =1年間に災害対策訓練を実施した回数						(回/年)	2015	2022	2027	2027	2027
							1		1	1			

実施内容
R2水道BCP策定済
机上・実地訓練を実施
非常用給水袋の備蓄、R4年度購入(隔年で購入計画)
R4年度 静岡県総合防災訓練実施(給水車両による配水)
応急訓練実施時における参加町内への喚起(R4県総合防災訓練)
近隣水道事業者と情報交換(日水協県支部主催)

実施内容
R5.7月に実施

2-(4) 渇水対策の強化 P45

年次計画	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	
	渇水対策マニュアルの運用と見直し										
	地下水源の定期的な維持管理										

実施内容
危機管理マニュアルに含めたため、R元年度末に廃止
令和3年度に井戸の浚渫工事の実施計画を策定
令和4年度から工事を実施

2-(5) 停電対策の強化 P46

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	
	年次計画	自家用発電設備燃料の確保									
→											
可搬式自家用発電設備の配置検討											
→											
数値目標	指標の名称						単位	現況	目標値		
								2015	2022	2027	
	・燃料備蓄日数 =平均燃料貯蔵量÷一日燃料使用量						(日)	0.5	0.5	0.5	

実施内容
全15設備では、常時、燃料をタンク容量の100%に維持している。
未実施

実施内容
R6.3.31現在、全15設備中の6設備で、燃料備蓄日数は0.5日を達成している。

3-(1) 水需要にあわせた施設のダウンサイジング P47

年次計画	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
	今後の水需要に合わせた施設能力の検討									
				見直し・検討				見直し・検討		

実施内容
上水道基本計画により口径のサイズダウンに基づき布設替工事を実施

3-(2) 施設の管理体制の効率化 P48

年次計画	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
	施設台帳システムによる管理の実施									
	施設台帳システムの構築	データ入力・管理・運用								

実施内容
R3年度施設台帳作成済

3-(3) 漏水対策の強化 P49

年次計画	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
	漏水調査の実施									
	老朽管の更新									

数値目標	指標の名称	単位	現況	目標値	
			2015	2022	2027
	・有効率 =(年間有効水量 / 年間配水量) × 100	(%)	89.4	89.8	90

実施内容
R5年度 職員調査を計26回実施
5箇所漏水修繕完了
R5年度 1,654m 老朽管路更新

実施内容
R5年度 76.7%

3-(4) 事業の統合に向けた取組 P50

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
年次計画	簡易水道の上水道への事業統合に向けた整備									
	統合認可申請									
	簡易水道施設の更新事業									

実施内容
令和元年度末経営統合及び認可完了
施設整備を実施中

3-(5) 近隣事業者との広域連携に向けた取組 P51

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
年次計画	広域化に向けた協議への参加									
	周辺事業者との将来的な統合に向けた検討									

実施内容
県主催の県主催の広域検討会に参加
3市意見交換会の実施
大井川圏域の意見交換会に参加

3-(6) アセットマネジメント及び経営戦略を踏まえた財源の確保 P52

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
年次計画	アセットマネジメント及び経営戦略の運用と見直し									
	適正な水道料金の検討									

実施内容
R4決算及び今後の事業計画に合わせ、予算再検討
R9.4からの料金改定に向け、業務委託に係る経費をR6予算に計上

3-(7) 業務の効率化 P53

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
年次計画	業務委託内容の見直し									
	業務のマニュアル化									

実施内容
令和2年10月から浄水場・料金包括委託開始
業務ごとのマニュアルを整備中

3-(8) 技術力の確保と継承 P54

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
年次計画	OJTの実施									
	外部研修への参加									
	外部委託を活用した技術力の確保									
	大井上水道企業団との人事交流の検討									

実施内容
新人職員向けのOJT実施
県、日本水道協会主催の研修等に参加
令和2年10月からの浄水場・料金包括委託により確保
令和5年度は実施なし

3-(9) 広報・広聴の充実 P55

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	
年次計画	「広報しまだ」や水道独自の広報紙による情報の発信										
	浄水場見学や浄水講座の実施										
	広聴活動の実施										
数値目標	指標の名称						単位	現況	目標値		
	・水道の広報紙の発行回数 =一年間に水道の広報紙を発行した回数						(回/年)	2015	2022	2027	
							0	1	1		
							0	計画見直し時に実施			

実施内容
「広報しまだ」に掲載(水道修理休日当番、決算・予算等)
令和5年度は、ふれあい島田塾(「水のおはなし」)1件実施
計画見直し時に実施予定のため、令和5年度の実施はなし

実施内容
なし
なし

3-(10) 環境に配慮した設備設定及び事業の実施 P56

年次計画	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	
	エコアクション21の実施										
	→										
	浄水発生土・建設発生土の有効利用										
→											
高効率機器の導入											
→											
数値目標	指標の名称						単位	現況	目標値		
								2015	2022	2027	
	・浄水発生土・建設発生土の有効利用率 =(有効利用土量 / 浄水発生土量+建設発生土量) × 100						(%)	100	100	100	

実施内容
電気使用量削減を独自目標として島田市の方針に基づく活動を行った。
令和5年度浄水発生土搬出は、未実施。建設発生土の有効利用は100%。
令和5年度は、高効率機器への更新を行わなかった。

実施内容
有効利用率100%